

スポーツ振興について



2024年10月28日
県民生活部スポーツ振興課

目次

1	HYOGOスポーツ 新たな展開へ	P 3
2	アスリートをつなぐ	P 4
3	環境をととのえる	P 6
4	楽しみをひろげる	P 8
5	仲間をあつめる	P10
	(参考) HYOGOスポーツのポテンシャル	P12

1 HYOGOスポーツ 新たな展開へ

HYOGOスポーツの 持続可能な発展のために

HYOGOスポーツの新施策の検討

兵庫県では、2022年度から2031年度までの10年間のスポーツ推進の指針となる「**第2期兵庫県スポーツ推進計画**」に従い、スポーツ行政を推進

2023年度、スポーツ担当部署が教育委員会から知事部局へ移管。知事部局の強みを活かして、計画目標を達成すべく、スポーツの多面的な価値を最大限に引き出すための具体的な方策の検討に着手



HYOGOスポーツ新展開検討委員会からの提案

2023年10月、新たな方策の検討のため、学識者、オリンピック、スポーツ関係企業・団体の幅広い分野から有識者を集め、検討委員会を設置。委員会内に、4つの専門の分科会をおき、議論を重ねた

2024年3月7日、スポーツが持続可能な形で発展していくために必要な要素として、「人材バンク」「空間開放」「Well-being」「スポンサーシップ」の要素が盛り込まれた提案書「**HYOGOスポーツエコシステム**」が示された



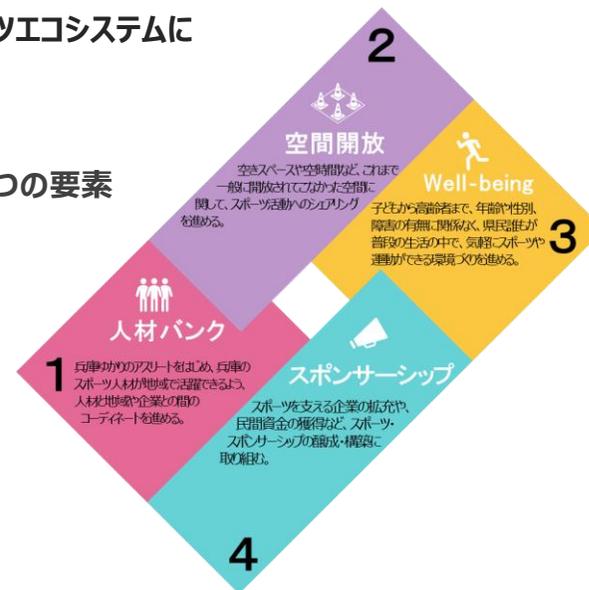
陸上の朝原宣治さん、テニスの沢松奈生子さんが、委員会に参加。子ども達のスポーツ環境の整備について意見を交わした



アスリート分科会のメンバーの岡崎慎司さんは、ドイツからオンラインで参加し、若い時に、海外を経験することの大切さを訴えた

HYOGOスポーツエコシステムに必要な

4

つの要素

2 アスリートをつなぐ

兵庫ゆかりのアスリートが 中学校の運動部活動の指導へ

中学校運動部活動の地域移行

中学校運動部活動の地域移行を見据え、地域スポーツクラブや部活動において、質の高いスポーツ指導が受けられる環境づくりに取り組む

指導者派遣プロジェクトの展開

兵庫県ゆかりのアスリートやプロスポーツクラブと連携して、選手やコーチ、指導者を学校や地域に派遣
各地域の教職員やスポーツ指導者が、指導ノウハウを学ぶ研修の場となるとともに、トップアスリート等のセカンドキャリアやデュアルキャリア形成につながることを目的とする

トップアスリート・プロスポーツクラブ等と
連携した指導者派遣プロジェクト 参加人数

1,412人 / **41**回
2023.4-2024.10.4



陸上の短距離の指導には、神戸市北区出身の朝原宣治さんが協力。中学生と一緒に走りながら、実践的な指導にあたる



バスケットボールでは、県内唯一のプロクラブである神戸ストークスから、選手やコーチが派遣され、中学生に指導。プロ選手と同じトレーニングメニューは指導者にとって新たな発見にもつながる



ラグビーの指導は、コベルコ神戸スティーラーズのOBやコーチが担当。公立中学校ではラグビーの部活動がないことから、県立高校のグラウンドを借りて実施



阪神タイガースOBの鶴直人さんや森田一成さん、望月惇志さんらが指導役を務めた。ピッチングやバッティング、守備とそれぞれのメニューに分かれ、専門的な指導が行われた

2 アスリートをつなぐ

“チーム兵庫”が九州・佐賀の地で活躍

国民スポーツ大会への兵庫県選手団の派遣〔47,214千円〕
「国民体育大会（国体）」から「国民スポーツ大会（国スポ）」へ名称変更した最初の本大会「**SAGA2024国スポ**」が佐賀県各地で開催された（※一部県外開催あり）。チーム兵庫の選手達が、兵庫の代表として熱戦を繰り広げた

競技スポーツ振興事業の実施〔194,933千円〕
兵庫のアスリートが全国や世界で活躍できるよう、子どもがスポーツ好きになる機会の創出、ジュニア選手の発掘・育成、トップアスリートの強化・サポート、指導者の養成等により**競技力の向上**に取り組む

兵庫県スポーツ賞優秀賞の表彰
優秀な成績をあげた兵庫県下の**スポーツ選手の功績**を讃え、スポーツの発展につなげる

- 受賞者（2023年分）
 - 金メダル 200
オリンピック・パラリンピック出場者、国際大会で3位以内入賞者等
 - 銀メダル 198
国際大会で4～8位入賞者等



会期前1回目
2024年9月5日-17日
会期前2回目
2024年9月21日-10月1日
本会期
2024年10月5日-15日



10月5日、SAGA2024国民スポーツ大会の総合開会式が佐賀市のSAGAスタジアムで行われ、大会初となるパレード形式で選手達が入場した



ソフトテニス競技は、佐賀県唐津市で開催され、成年女子で、兵庫県が2年連続19回目の優勝を果たした

第78回国民スポーツ大会
「SAGA2024国スポ」
兵庫県選手団

584人

選手・監督・本部役員の延べ人数

3 環境をととのえる

民間ノウハウの活用で スポーツ施設を運営

民間企業が持つ効率的な運営手法やマーケティング戦略などを施設運営に活用しようと、所管するスポーツ6施設に**指定管理者制度**を導入



Life partner Arena〔西宮市〕
〔兵庫県立総合体育館〕

体育室（観客席有）と格技室、研修室、トレーニング室などを備える総合体育館。宿泊室も完備
〔81,101千円／404,624人〕



神戸常盤アリーナ〔神戸市〕
〔兵庫県立文化体育館〕

体育室、柔道場、剣道場だけでなく、プールや多目的のホールも備える総合アリーナ
〔134,529千円／504,588人〕



神戸西テニスコート〔神戸市〕

砂入り人工芝コート（夜間照明有）を7面有する人気のテニスコート。休日は、テニススクール利用者など非常に多くの人で賑わう
〔 - /59,320人〕



兵庫県立武道館〔姫路市〕

第1道場（4面）、第2道場（8面）などからなる武道場。競技面数は、国内最大規模で、主要競技会が数多く開催
〔141,878千円／412,317人〕



兵庫県立弓道場〔明石市〕

県内最大級の弓道場。主要競技会だけでなく、弓道教室など一般向けのイベントも数多く開催
〔8,666千円／29,111人〕



兵庫県立海洋体育館〔芦屋市〕

カヌー、ヨットなどのマリンスポーツを1年中楽しむことができるスポーツ施設。マリンスポーツの練習拠点にもなっており、オリンピックも輩出
〔29,104千円／50,047人〕

6つのスポーツ施設の年間利用者数（延人数）

1,460,007人
2023.4-2024.3

〔 / 〕・・・2024年度の維持運営費（県費） / 2023年度の年間利用者数

3 環境をととのえる

新しいスポーツ空間・時間を
利用した人数（延べ人数）

1,023人 / **12**回
2024.4-2024.9

スポーツ空間・時間を
シェアリングで生み出す

スポーツのためのシェアリング

県や市町、企業、大学が保有する用地及び施設の時間的・空間的な隙間（スキマ）をシェアリングし、スポーツ教室やスポーツ体験など、地域の人々がスポーツができる環境を生み出す

学校施設の一般開放

学校のスポーツ施設（運動場や体育館など）を地域で有効活用できるよう、放課後や平日夜間の開放を働きかける

アーバンスポーツのプロモーション

街中へスポーツを持ち込むアーバンスポーツの大会を誘致。会場では、子ども達が間近でプロ選手の技を見るとともに、自らも競技に挑戦できる**体験ブース**を設置



兵庫県庁 2号館前芝生広場にて、3×3のデモゲームやフリースロー大会を開催。お昼休み・1日限定で、憩いの場がスポーツができる空間へ生まれ変わった



県立芦屋高校のナイター照明を修繕し、生徒が下校した夜間に施設開放。7月から、日本ラグビー協会主催のラグビープログラムが開始された



©CHIMERA Union

7月6日、7日の2日間、姫路市大手前公園にて、BMXフラットランド大会を開催。大会の周辺では、BMX、けん玉、ダブルタッチ体験会も実施した



©KOBE STORKS

神戸ストークスと連携して、県内各所でバスケットボール教室を開催。オフシーズンでは、プロ選手が小学生と一緒にボールを追いかける姿も

4 楽しみをひろげる

世界最大級のスポーツイベント 関西にやってくる



ワールドマスターズゲームズは、1985年、カナダ・トロントでの第1回大会が開催されて以後、4年ごとに開催されている**生涯スポーツの国際総合競技大会**

国際マスターズゲームズ協会の主宰で、概ね30歳以上であれば、誰でも参加可能。その大会が2027年に、関西一円で開催

3年後の大会開催の機運醸成と成人のスポーツ参加機会の拡充を図るため、「**関西マスターズゲームズ in HYOGO**」などのイベントを展開

〔関西マスターズゲームズ in HYOGO : 5,579千円〕



オリエンテーリング（フォレスト）は養父市、神河町、香美町の3つの市町に渡り、開催される。今年7月にモデル大会を開き、県内外から多くの参加者がエントリーするなど、本大会開催への機運が高まる



ビーチバレーは、南あわじ市の慶野松原海水浴場にて開催予定。例年6月にBeach Volley in 南あわじ大会がWMG開催記念大会として開かれ、白砂のコートでの熱戦を見ることができ

ワールドマスターズゲームズ2027関西

2027

5/14-30

〔主催〕
公益財団法人ワールドマスターズゲームズ
2021関西組織委員会
〔期間〕
2027年5月14日（金）-30日（日）
〔競技〕
公式競技35競技59種目



多様な生涯スポーツの推進

「**スポーツクラブ 21ひょうご**」の活動支援〔2,639千円〕

スポーツ大会の開催等を契機として**クラブ間の連携を促進**するとともに、活動の活性化や自主自立の運営に向けた取り組みを支援

「**ひょうご女性スポーツの会**」の活動支援〔3,500千円〕

女性のスポーツ環境向上やスポーツ人口の増加を目標に、女性の競技別大会や女性特有の課題を扱う研修会などに取り組む「ひょうご女性スポーツの会」の活動を支援

4 楽しみをひろげる

神戸マラソン2024

フルマラソン・エントリー数

40,940人

昨年の36,017人から4,923人増加

海外居住者枠・エントリー数

1,737人

昨年の550人から1,187人増加

走りたくなる、景色がある。

神戸マラソン2024 11.17開催

神戸マラソンは、「感謝と友情」をテーマに、阪神・淡路大震災から復興を遂げた神戸の街を国内外に発信するとともに、手を差し伸べていただいた方々に感謝の気持ちを伝える

今大会では、新たに2人一組でタスキをつなぐ**リレーラン**を実施
(中継地点：アジュール舞子付近)

2025大会では、大蔵海岸（明石市）付近で折り返し、神戸ウォーターフロントエリアでフィニッシュする、**新コースでの開催を予定**

〔神戸マラソン2024の開催：68,883千円〕



開催日程 2024年11月17日（日）

9:00第1ウェーブスタート／9:15第2ウェーブスタート／16:00終了

定員 フルマラソン：20,000人、リレーラン：150組・300人

主催 兵庫県／神戸市／一般財団法人兵庫陸上競技協会

企画運営 神戸マラソン実行委員会



神戸大橋を走って渡るのは、今大会が最後。2025大会では、明石海峡大橋・淡路島を望む景観と、全体的にフラットなコースを実現



大会当日は、60万人を超える沿道応援と6千人のボランティアが大会を支え、感謝と友情を伝える

5 仲間をあつめる

HYOGOスポーツを 応援する想いを集めて

スポーツは、自分が「して」、楽しいだけでなく、アスリートが頑張っている姿を見て「感動した」、「応援したい」など、**人の心を揺り動かす力**がある。その力が形となるよう、各種プロジェクトを立ち上げた

プロスポーツクラブを応援する気持ちを **ふるさと納税制度**での寄付として形づくる取り組みや、スポーツ活動を支援する想いを持つ企業・団体との**連携の枠組みづくり**を進める

プロスポーツクラブと連携した地域活性化

プロジェクト [60,000千円]

兵庫の子ども達がスポーツに触れる機会を充実するため、プロスポーツの試合観戦招待やプロ選手やスタッフから直接指導を受けられるスポーツ教室の開催など、ふるさと納税の仕組みを活かしたプロジェクトを進める



① 県・クラブが寄附呼びかけ

← 県外の個人・企業

② 寄附

③ 個人：返礼品

・ファン
・スポーツ関連企業

← 企業：県ホームページ掲載



プロスポーツクラブ等

↑ ↓ 兵庫県

④ 地域活性化
事業展開



なでしこサッカー能登半島エール プロジェクト

2024.8.5-7

被災地・能登を応援しようと、石川県立七尾高校の女子サッカー部を兵庫に招き、スポーツを通じての交流などを展開。一般寄付の538,592円とINAC神戸や企業・団体の協力で実施した



バスケットボール等寄贈 プロジェクト

神戸ストークスと地元企業、兵庫県との連携して、授業や部活動で使用するボールなどの用具を県立学校へ寄贈する取り組みを進めている。用具には、クラブロゴと企業ロゴがプリントされる



6つのプロスポーツクラブとの 包括連携協定に基づく活動

包括連携協定に基づき、①神戸ストークス、②ヴィッセル神戸、③コベルコ神戸スティーラーズ、④SEKISUIチャレンジャーズ、⑤FCバサラ兵庫、⑥INAC神戸レオネッサの6クラブと、スポーツ振興等を連携して展開。上記写真は、2024年6月11日のSEKISUIチャレンジャーズとの協定締結式の様子

ふるさと納税等による スポーツに対する寄付合計額

9,822 万円
2023.4-2024.9

5 仲間をあつめる

地元クラブの応援で シビックプライドを醸成

子ども達がプロ選手の迫力ある試合を観戦して、スポーツに触れる機会を創出するとともに、**県民のシビックプライドの醸成**や**兵庫のブランド力の向上**を目指し、地元クラブの試合観戦企画を実施

観戦を契機としたファン拡大を、**スポーツビジネスのマーケット拡大**や**地域経済の活性化**につなげる

プロスポーツクラブと連携した
試合招待企画参加者

39,486人 / **33** 試合
2023.4-2024.9



ヴィッセル神戸

高校生無料招待 プロジェクト

2024年7月20日、県内の高校生をヴィッセル神戸の本拠地・ノエビアスタジアム神戸でのJリーグ公式戦に招待企画を実施。県内各所（26市町）から神戸に高校生が集った



神戸ストークス

小・中・高校生無料招待プロジェクト

2023-2024シーズンの神戸ストークスのホームゲーム26試合に県内の小中高生を招待。リーグ最終戦では、B2レギュラーシーズン最多入場者数を更新した



コベルコ神戸スティーラーズ

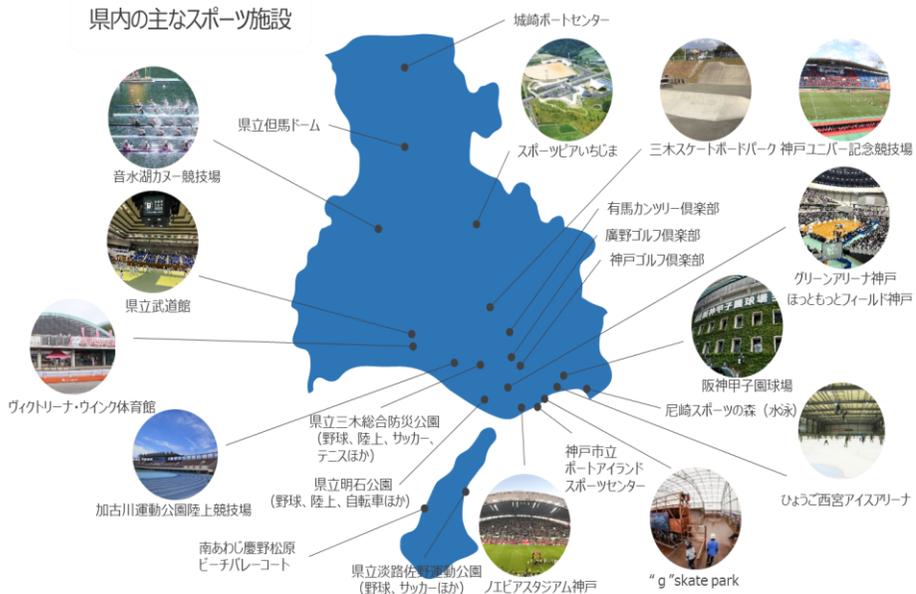
県民応援デー

2024年3月24日、「県民応援デー」として、一人150円で観戦できる企画を実施。力強い選手のプレーに、子どもから高齢者までの幅広い歓声がスタジアムに響いた

(参考) HYOGOスポーツのポテンシャル

スポーツ施設の充実

- 日本陸連公認第一種競技場が3カ所(神戸、三木、加古川)あるのは兵庫だけ(神奈川、静岡、大阪が次いで2カ所)
- ゴルフ場数(157カ所)は、北海道、千葉に次ぐ第3位
- スケートパーク等は、県内に25カ所あり
- 神戸と姫路とで新アリーナ、神戸で通年型アイススケートリンクの建設が進む



本拠地を置く23のプロスポーツクラブ (トップリーグ所属を含む)

- 阪神タイガースは、12球団トップの1試合平均41,801人(2024シーズン)の入場者数を誇る
- ヴィクトリーナ姫路が2024年からSVリーグ、神戸ストークスが2026年からB.LEAGUE PREMIEREと新設の最上位リーグに参入

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■野球・日本野球機構
阪神タイガース ■野球・さわかみ関西独立リーグ
兵庫レイバーズ
淡路島オリアーズ
姫路イーグルレッタース ■女子硬式野球・関西女子硬式野球リーグ
兵庫ブルーサンダーズ(1部)
淡路BRAVE OCEANS(1部)
阪神タイガースWomen(1部) ■女子ソフトボール・JDリーグ
シノギレインボーストークス兵庫 ■サッカー・Jリーグ
ヴィッセル神戸(J1) | <ul style="list-style-type: none"> ■女子サッカー・WEリーグ
INAC神戸レオネッサ ■フットサル・日本フットサルリーグ
デウソン神戸(DV2) ■女子フットサル・日本女子フットサルリーグ
アルコ神戸
SWHLレディース西宮 ■バスケットボール・Bリーグ
神戸ストークス(B2) ■女子バスケットボール・Wリーグ
姫路イーグルレッツ(W FUTURE) ■3人制バスケットボール・3x3.EXE PREMIER
Epic.EXE (エピックエグゼ) | <ul style="list-style-type: none"> ■女子バレーボール・SVリーグ
ヴィクトリーナ姫路 ■バレーボール・Vリーグ
兵庫デルフィーノ ■9人制バレーボール・V9チャンプリーグ
デンソーテンドレッドフェニックス(1st) ■ラグビー・リーグワン
コベルコ神戸スティーラーズ(DV1) ■女子ラグビー
神戸ファストジャイロ ■アメリカンフットボール・Xリーグ
SEKISUIチャレンジャーズ(X1 Super)
イレコム神戸ファイニース(X1 Super) |
|---|--|--|

世界で活躍するトップアスリート

〔フィギュアスケート〕

坂本花織 世界選手権3連覇 2022-24

〔柔道〕

阿部一二三・詩 兄妹 パリオリンピック メダリスト

(一二三：66kg級・金メダル、兄妹：混合団体・銀メダル)

〔水泳(飛込)〕

玉井陸斗 パリオリンピック 10m高飛込 銀メダリスト